

防災コラム No.13<<災害時の ‘知って安心トイレ問題’ >>

災害時「トイレの水を流す事で、トラブルが発生する」可能性がある事をご存じですか？

「断水していないし、停電もしていないなら大丈夫！」と思ってしまいがちですね。

実は、もうひとつ重要なチェックポイントがあります。それは「下水道の使用可否」です。災害で排水管や下水道が破損してしまうと、自分や上の階でトイレの水を流すことにより、汚水が ①床下 ②自分や階下の部屋の中 に逆流したり、あふれる恐れがあります。



✓ トイレ使用前の確認ポイント

- 断水も停電もないかチェック
- 自治体のホームページなどで「下水道の使用制限」が出ていない事をチェック
- 自宅の排水管の破損が無い事をチェック
- 宅地内の「汚水ます」(直径約 20 センチメートルで白色の蓋が多い) の蓋を開け、トイレの水を流して、それが「汚水ます」へ流れるかをチェック
- マンション等の集合住宅では、管理組合などへ「トイレの使用可否」を確認

1. 「水のう」(すいのう) で STOP! トイレの逆流

排水設備の損傷による汚水の逆流は、どのトイレでも起こる可能性があります

特に、マンションなどの1階にお住まいの場合やしばらく自宅から離れる場合は、心配ですね
他にも風呂場、洗濯機などの排水口にも水のうを設置すると、逆流や臭気を軽減できます

水のうの作り方

1. 45L のゴミ袋を 2 重に重ねる
 2. 袋の中に水を約半分 (20L 程度) 入れる
 3. 空気を抜き、口をしっかり結ぶ
 4. 便器に別のゴミ袋をかぶせ、上に水のうを設置
- ※ 便器の排水口全体をしっかりふさぎましょう!



2. トイレの使用が制限されると、「災害用トイレ」の備えは必須!

- 市販の「災害用トイレパック」には、凝固剤や吸水シートがついており衛生的です
- 家庭の備蓄品として、最低でも家族人数×1日につき5回×3日分を備えておきましょう!

※消臭・除菌スプレー・ビニール手袋・ウェットティッシュもあると安心です

3. <知恵袋> 簡易トイレパックの作り方 (自宅にある物で OK)

市販の「災害用トイレパック」の不足に備え、覚えておきましょう!

簡単トイレパックの作り方

材料 (1 回分)

- ゴミ袋 (45L を 2 枚 / 黒い袋 & 臭い軽減タイプが理想)
- 新聞紙など紙類 (ペットシート・紙おむつ・猫砂・ボロ布なども可)

使用手順

1. ふたと便座を上げてゴミ袋 1 枚をかぶせる (汚れ防止)
2. 便座を下ろし、もう 1 枚のゴミ袋をかぶせる (排泄用)
3. 中に新聞紙を適量ちぎって入れる (吸収 & 目隠し)
4. 使用後、上の袋のみを外して口を結ぶ
5. 燃えるごみとして回収に出せます。回収があるまでは自宅で保管



災害が起これば、トイレも被災する!
震災後にトイレの水を流す場合は要注意!!
安心できるトイレが、健康を守る!!!